高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援）
令和７年度　自己点検評価書

事業名：ふじのくに高度臨床研究医養成拠点

①事業 HP を作成し、特定臨床研究の支援や成果にかかる広報

【自己点検評価】

・本事業の HP を作成し公開した。

・特定臨床研究の支援や成果にかかる広報のためにリーフレットを作成し、県内の医療機関及び研究機関に配布した。

②臨床研究データの集積管理のシステムの導入

【自己点検評価】

・サーバーの設置方法の検討や導入後の運用方法の検討など、臨床研究データの集積管理のシステムの導入のための準備を行った。

③プロジェクトマネージャーまたは CRC の増員や RA の配置による研究支援

【自己点検評価】

・本補助金での雇用により CRC 1 名の増員を行った。

・学内での配置換え等により CRC 3 名の増員を行った。

・CRC 増員にともない既存の施設ではスペースが不足することから、新棟への移転を行い、臨床研究を支援するためのハード面での体制強化の準備を行った。

・研究重点 4 領域を担当する PM•CRC・CRA のチーム編成を行った。

④研修会、セミナー、講演会の開催

【自己点検評価】

・連携校である光産業創成大学院大学と、医療機器スタートアップをテーマにしたアントレプレナーシップ養成のためのフォーラムを 4 回（令和 7 年 7 月、9 月、10 月、11 月）に開催した。

・連携校である静岡県立大学と本学の大学院生によるセミナーを 2 回（令和 7 年 4 月、12 月）に実施した。

⑤各診療科の医行為の実施状況の把握

【自己点検評価】

・令和 6 年 1 月～12 月の臨床実習において、門田レポートから抽出した医療面接および診療録記載を含む 70 項目の医行為について、学生の e ポートフォリオ入力に基づき実施状況（未経験、見学、シミュレーターで実施、患者以外で実施、患者で実施）を診療科別に把握した。

・上記データを各診療科にフィードバックし、情報共有を行った。

⑥シミュレーション機器の導入

【自己点検評価】

・救急蘇生に関連したシミュレーション機器は、臨床実習前 OSCE の準備教育を中心に、高学年の全学生により活用されている。
・超音波機器に関連したシミュレーション機器についても、臨床実習中および臨床実習前後の教育において高学年の全学生により活用されている。
・上記機器については、医療系サークルの学生が自主的に活用しており、BLS や超音波関連の大会において優秀な成績を収めている。

⑦e-ポートフォリオシステムのトライアルとその評価の実施

【自己点検評価】

・e ポートフォリオシステムのトライアルにより、学生の医行為の把握および学生への形成的評価に活用可能であることが確認された。
・学生からは「教員からのフィードバックが役に立った」等の意見が得られ、一定の教育効果が示唆された。
・教員による e ポートフォリオの使用状況を評価した結果、多くの診療科において、積極的に活用していることが認められた。

⑧教育支援部門への新規事務職員等の増員

【自己点検評価】

・地域実習の充実に向けた調整業務及び臨床実習前の準備教育に係る事務体制の強化を目的として、令和 7 年 4 月から事務職員（準職員）1 名を新たに雇用した。
・当該職員は関係部署との連絡調整や実習準備に係る業務の円滑化に寄与したが、本人の都合により令和 7 年 9 月に退職した。現在、後任の確保に向けて募集を行っている。